

日本赤十字豊田看護大学  
新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針 Ver. 4

新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言は、全国で5月25日には解除されましたが、東京では感染者数が再度増加し7月18日（土）には290人/日となり、その約半数が感染経路不明者です。県を越えた移動が解除されて以来、愛知県では7月14日から増加を示し、7月18日（土）には25人/日となり、市中感染の様相を呈し始めました。

新型コロナウイルスは症状が現れる2日前から他の人々へ感染させる力があり、また、症状が現れないまま他へ感染させる不顕性感染者の存在もわかってきました。感染経路不明者は、症状がない感染者からの感染が考えられ、どこで感染したかわからない状況で感染が拡大しています（市中感染）。7月22日から、政府によるGoToキャンペーンが始まります。市中感染の様相の中、感染予防の明確な施策が実施されないまま、感染予防対策を個人に委ねる形で始まりますので、感染拡大が加速することが懸念されます。

新型コロナウイルスのワクチンも治療薬も確立されていない今、医療崩壊を防ぐためには、私たちが感染しないこと、感染させないこと、感染予防について周囲へ啓発活動を行うことが重要です。さらに、もしも感染した場合に備え、濃厚接触者を追跡できるようにしておくことが重要です。

私たちは、いつ感染するかわからない環境で生活することを覚悟しなければなりません。新型コロナウイルスの感染様式は、①飛沫感染、②接触感染、③マイクロ飛沫感染の3種類です。以下に留意しながら、学業を続けてください。

また、最新のInfection Control Doctor (ICD)の注意喚起を添付しますので、感染予防行動を続けてください。

1. ①飛沫感染への対策として、マスク（病院内では医療用サージカルマスク）を着用すること。
2. ②接触感染への対策として、共用部分（つり革、ドアノブ、モニターパネルなど）に触れた後は手指消毒すること。
3. ③マイクロ飛沫感染対策として、換気を行うこと。
4. 感染者多発地域、三密（密閉・密集・密接）の場所を避けること。

日本赤十字豊田看護大学 学長 鎌倉やよい

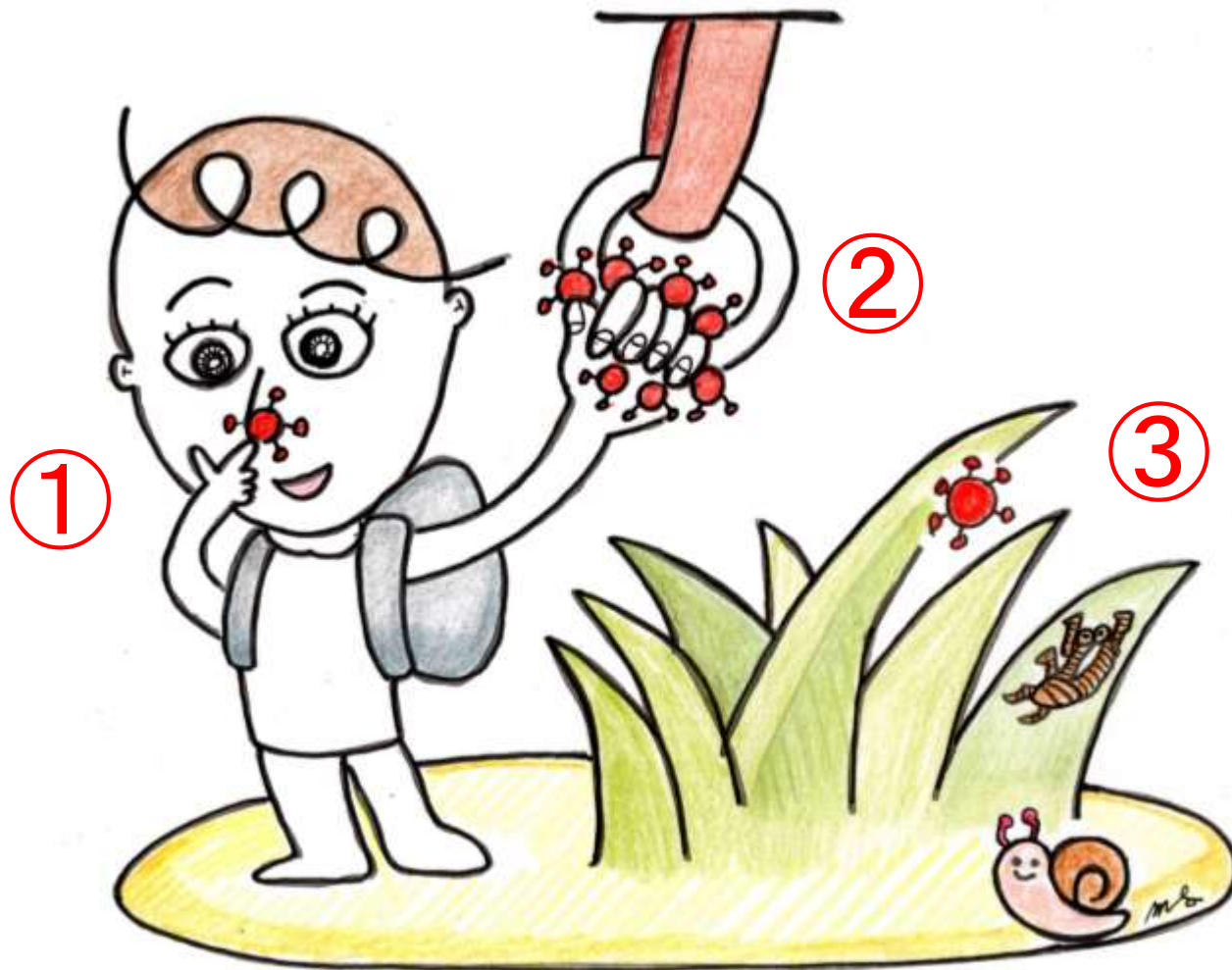
# コロナの現状と 今、何に注意すべきか



2020-7-14 下間

新型コロナウイルスは、どこで生き延びていくのでしょうか？

- ① 感染した人間の体の中
- ② 電車の吊り革やドアノブなど、人が触ったところ
- ③ 草むらのかけ



答えは  
①の「人間の体の中だけ」



コロナは一人では、生きていけません。  
蝉より短い、せいぜい三日の命です・・・

コロナを運ぶのは、人間しかない



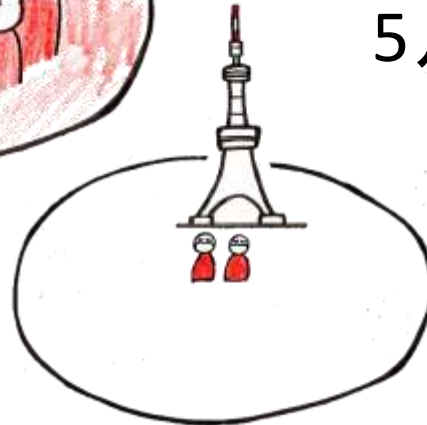
# 東京 新規感染者

4月7日  
緊急事態宣言



4月17日  
206人

行動自粛

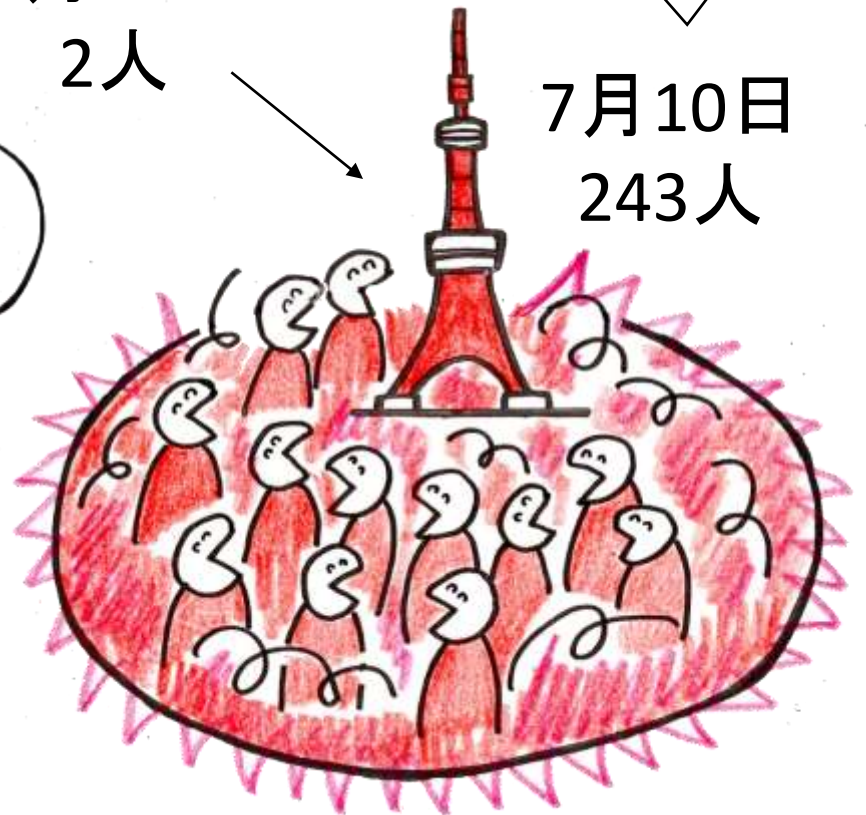


5月23日  
2人

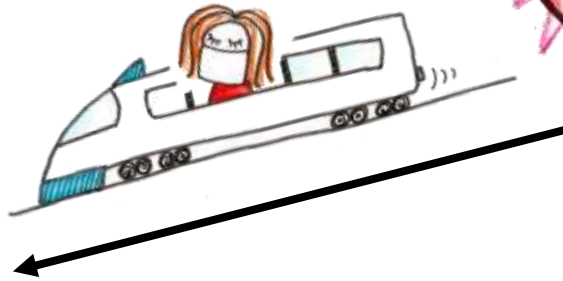
5月25日  
緊急事態宣言解除

4月とは異なり  
感染者は  
若者が中心

7月10日  
243人



東京問題  
全国に波及



新宿、池袋で  
飛沫感染 > 接触感染

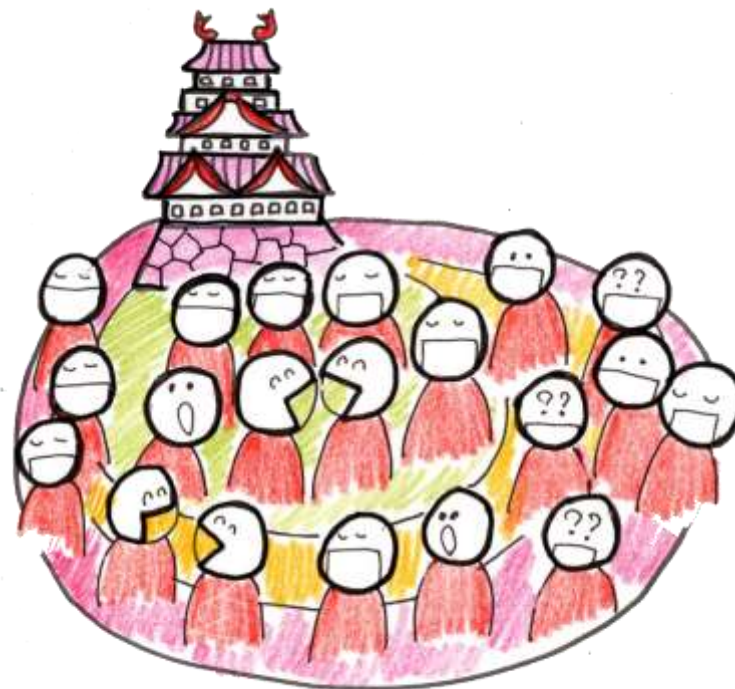
今は、愛知県で  
クラスターは出現していない

※京都の夜の店では、6月末に  
新宿から持ち込まれた  
サプライズ・コロナでクラスターが出現している

新宿のホストがサプライズ  
で京都の店に登場して  
クラスターが発生した

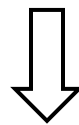


今後



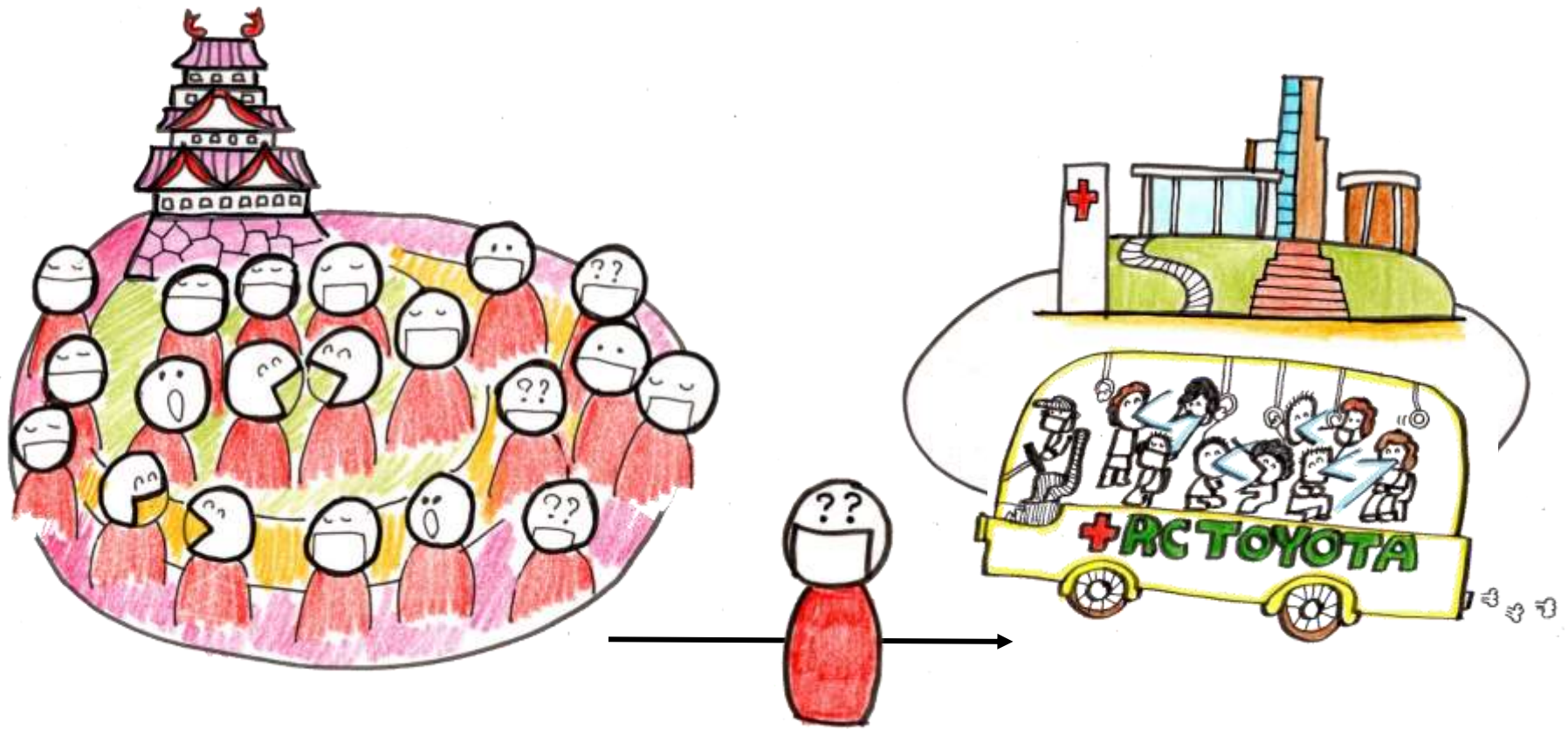
7月中旬の愛知県：  
関東で感染した  
名古屋市民が数人だけ

新規感染者数の急増  
感染経路不明者の増加

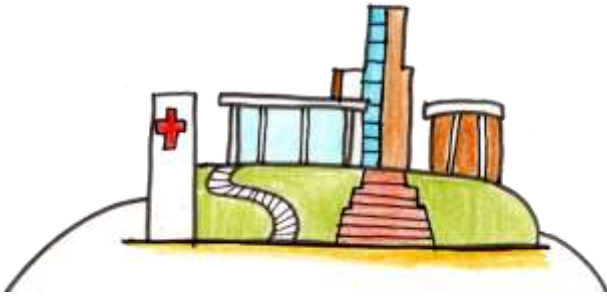


名古屋を中心に、市民の生活している環境  
がコロナに汚染されていることを示唆する





名古屋の環境が  
汚染されてきたら  
豊田に影響が出てくる



今、大事なアナウンスは・・・

- ① 学生、教職員は、東京など明らかにコロナが存在する地域に行っても、夜の店、繁華街や人混みには近づかない
- ② 念のため、名古屋や豊田のカラオケ、夜の店、繁華街にも近づかない(サプライズ・コロナがいるかもしれないから)
- ③ 愛知県のコロナ感染者、「特に経路不明者が急増してきたら環境が汚染されてきた」と判断して、各自がマスク、手指衛生、身の回りのコンタクトポイントを消毒するなど、一層、意識を高めて、感染対策を実践する